

2009年6月20日発行

第90号



友の会ニュース

発行所
神奈川県東部建設協同組合
〒216-0011川崎市宮前区犬蔵1-4-14
TEL044-976-1151
FAX044-976-0557
フリーダイヤル0120-633-306
定価10円
発行人 白田武美

気をつけたい



家庭内事故とは、家庭における不慮の事故のことです。死亡事故も少なくありません。厚生労働省発表の人口動態統計によると家庭内事故死者は年間1万人以上と、交通事故死に迫る勢いです。特にお年寄りや乳幼児においては、交通事故死よりも家庭内事故死のほうが多いのです。

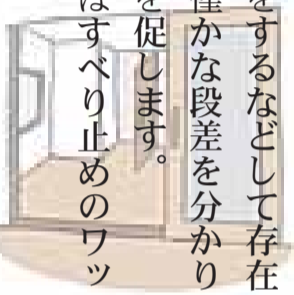
家庭内事故で亡くなった方は65歳以上が全体の72%と圧倒的です。65歳以上では交通事故死の実に1.5倍もの方々が家庭内事故が原因でお亡くなりになっています。どうしたら事故を防げるか、安心できる住まいづくりを考えてみましょう。

★居間では

畳の上に置いた新聞・雑誌の上に乗っかってしまい、滑って転ぶ。ワックスがけをしたフローリングで滑って転ぶ。敷居の段差でつまずいて転ぶ。こんな事例が多いのです。

★対策は

- ◎床や敷居の段差をなくす。また敷居は取外して色分けをするなどして存在を目立たせる。僅かな段差を分かりやすくして注意を促します。
- ◎フローリングにはすべり止めのワックスを使用する。
- ◎コルク等の滑りにくい床材を使う。



家庭内事故

◎カーペットや絨毯などは一部ではなく部屋全体に敷き、段差をつくらない。
◎延長コードでつまずかないよう、電気コンセントを増設する。

★浴室では

浴槽内で滑って転倒・椅子が滑りバランスを崩して転倒・浴槽の縁に置いた手が滑り転倒・マットが滑り転倒等、転倒事故と脱衣所と浴室内の温度差で意識を失ったりするケースや浴槽内で溺れてしまう等、命にかかわる事故も多く発生しています。

★対策は

- ◎寒い季節は脱衣所や浴室は暖めて入る。
- ◎出入口や浴槽付近にはL字型手すりがあると良い。
- ◎入浴は20分以内にする。湯温は38℃〜41℃の中温程度がよい。
- ◎家族に声を掛けてから入浴する。
- ◎浴槽にたっぷり湯を張らない。
- ◎入浴の前後に水分の補給をする。飲酒後は入浴しない。入浴直前直後の薬の服用は避ける。
- ◎浴槽内でつかまれる手すりがあるとよい。浴槽はまたぎやすく底はすべらない工夫をする。
- ◎すのこは隙間なく敷き詰める。
- ◎出入口は間口を広く段差を無くし中折り戸などにするとよい。



バリアフリー工事の際には、介護保険による補助金制度や都道府県の融資、市町村独自の補助金制度などを利用できます。また所得税の控除もあります。各自自治体にお問合せ下さい。
KCCでは小さな工事から高齢者住宅建設まで幅広く対応しておりますので、お困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。

京浜協同劇団改修工事

平成6年度に当組合で竣工した京浜協同劇団の外装全面改修工事が、このほど完成しました。竣工から15年が経ち、汚れてきましたが、お化粧直しで新築のようになりまして、雨の多い季節を安心して迎えられます。

